

## 平成28年司法試験 合格体験記

平成25年度修了（未修コース）瀬部 美穂

### 1 自己紹介

8期末修の瀬部美穂と申します。この度、3度目の受験で司法試験に合格することが出来ました。僥越ながら、2度の不合格という失敗を踏まえたアドバイスが出来ればと思います。

### 2 合格体験記

#### (1) 受験の心得

不合格の年度では、私は、司法試験合格を諦め、なんとなく勉強していたと思います。しかし、それでは、必死に合格に向け努力している全国の受験生に負けて当然です。

精神論を否定する人もいますが、最後は受かりたいという強い気持ちが、合否を分けると思います。

そうは言っても、私は、落ち込むことも多々あり、アントニオ猪木のモノマネをして「元気があれば何でも出来る！」と言い、自分を鼓舞していました。

#### (2) 択一について

1度目の受験で、択一に落ちてしまい、審査員による論文の評価さえ得られませんでした。論文の結果を得られれば、次回の受験対策に大いに役立つので、択一合格は必須の目標だと思います。

おすすめの勉強法は、「短答過去問パーフェクト」を使用し、正答率80%以上の問題を確実に習得した後、正答率79~50%の問題を習得することです。これらの問題は、受験生の共通知識だからです。

#### (3) 論文について

2度目の不合格後、私の論文は、雑であると先輩からご指摘を受けました。基本的知識が不正確であり、文章も読みづらいものになっていたのです。

司法試験における基本的知識とは、条文、その趣旨、百選判例、司法試験と予備試験の過去問だと思います。特に、これらがA論点に含まれるならば、徹底的に取り組む必要があります。

また、知識も大切ですが、論理が飛躍しない記述、接続詞や「てにをは」の正確性も同様に重要で、答練によって訓練しなければなりません。

### 3 最後に

いろいろと書きましたが、私が合格できたのは、先生方、先輩、友人、法科大学院の職員の方々そして、家族の支えのおかげです。

誠に感謝申し上げます。いつかこの御恩をお返し出来るよう、精進して参ります。